

広告ではなく、報告をお届けします。

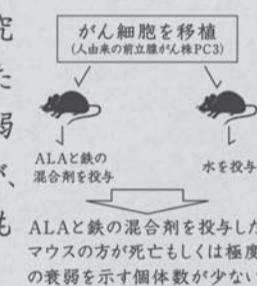
ALAprom 研究所 REPORT #1

第70回日本癌学会 学術総会にて発表。 ALA、がんへの効果。

ヒトのエネルギーに関わる、天然アミノ酸「ALA」。
今回のレポートでは、がんに対する「ALA」のさまざまな効果をお知らせします。

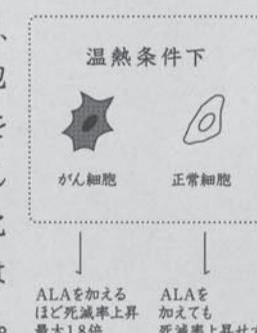
ALAに「がん移植マウスの延命効果がある」という発見。

2011年10月4日に開催された、第70回日本癌学会学術総会。SBIアラプロモと東京工業大学の共同研究によって、ALAのがんに関する効果が発表されました。がん細胞を移植して人工的に腫瘍をつくらせたマウスにALAと鉄(Fe)混合剤を飲ませたところ、飲ませなかったマウスと比較して、腫瘍によって衰弱したり死亡したりするマウスが少なかったという結果が見いだされました。ALAと鉄(Fe)混合剤が、正常細胞の代謝を活性化し、細胞の生存に必要なエネルギーの生産を助けることで、がんが進行してもマウスが衰弱しにくくなったものと考察されます。



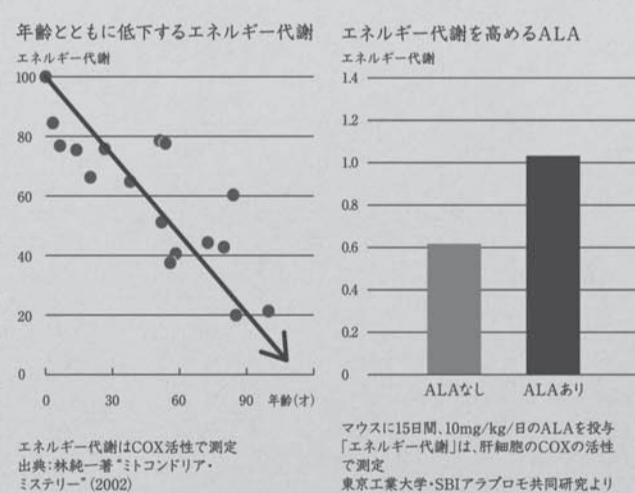
ALAに「がんの温熱療法を助ける効果がある」という発見。

もうひとつの注目すべき発表。SBIアラプロモと東京農業大学、東京工業大学の共同研究によって、さまざまながん細胞を用いて温熱療法と同様の条件下でのがん細胞の生存率を検討しました。がん細胞の生存率が低いことは温熱療法の効果が高いことを示します。その結果、細胞培養液中のALAの濃度を高くするほど温熱療法の効果は上昇し、最大1.8倍に達しました。これらのがん細胞では、ALAががん細胞にとってダメージを与えるプロトポルフィリンIX(PPIX)と略し、ピーピーナインと読みます)に変化して蓄積しており、このPPIXが温熱効果を増幅したと考えられます。本実験結果において、ALAはがん細胞に対して温熱療法の効果を高めることから、今後のがん治療への応用も期待されています。



ALA不足の克服。これからは生きる、すべての人々へ。

人の細胞は年齢とともに代謝が低下し、エネルギーをつくれなくなってゆきます。加齢に伴って身体に起こるトラブルの多くは、細胞レベルでのエネルギー不足に起因しているともいわれています。そこで注目されるのが、代謝を活性化するALA。細胞内のミトコンドリアでの代謝を活性化させ、細胞が正常に機能するためのエネルギー生産を助けるアミノ酸です。代謝の低下が原因で起こる病気や不調を改善し、身体を健康に保つには、ミトコンドリアの機能を維持することが重要だと考えられています。ALAはミトコンドリアの機能を維持するために不可欠なアミノ酸なのです。その際、ALAだけでなく鉄(Fe)などのミネラルと一緒にALA+mineralとして摂取することで、さらにプラスの効果が得られるとわかってきました。



さらに最近では、マラリアへの効果も発見されるなど、さまざまな医療の分野に向けて研究が進むALA。
SBIアラプロモが設立したALAprom 研究所は、これからもALAと健康に関する情報をお届けしてゆきます。

ALAprom 研究所

ALAprom 研究所から。

SBI ALAprom
www.ala-plus.jp